



上／専門家の指導の下、一般のメーカーと遜色のない授産品が作られている
左下／遠州綿紬や遠州ガーゼなどを使った授産品は企業の周年記念品に人気
右下／昨年、えんしん中島支店のギャラリーにて芸術作品の展示会を開催



多彩な授産品を揃える「福祉事業所フェア」では大勢のお客様が集まる

福祉と企業・地域を つなぎ、障害者の 就労と自立を支援する 認定NPO法人 オールしずおかベストコミュニティ

今春のマスク不足では多くの方がご苦労されたことと思います。当庫においてもそれが同様でしたが、ある出会いから危機的状況を回避することができました。救いの手となったのは、障害をお持ちの方の手によるマスクであり、オールしずおかベストコミュニティ（以下、オールしずおか）の皆さんの存在でした。

「お付き合いのある職員さんからお話を聞き、遠州ガーゼでマスクを手作りしている地元の事業所さんをご紹介しました」と河嶋さん。その迅速で的確な対応には感謝の言葉しかありません。そんな河嶋さんたちの活動についてお話を伺いました。

「主な活動は、企業と福祉をつなぐ活動、障害者の雇用の促進、障害者の文化芸術の支援の3つですね」。

具体的な内容について伺うと、「企業と福祉をつなぐ活動は、授産品の品質向上に努め、企業との取引の促進を図っています」。かつては「安かろう悪かろう」といわれた授産品も近年は格段に品質が向上。ふじのくに福産品ブランド認定を受ける製品も続々増えてきています。就労の面では「様々な

企業へ就労の斡旋を図る一方で、農福連携を推進しています。人手不足の農業分野に就労の機会を見いだせないかと考えています」。文化芸術の支援について、支援コーディネーターの鈴木さんは、「障害をお持ちでも素晴らしい芸術作品をつくる方は大勢おられます。展示会やワークショップなどを通じて、少しでも作者や作品を広めたいですね」と語ります。

新型コロナウイルスの影響で行事やイベントが休止になるなど、相当なダメージを受けているとも。「我々の活動は企業・地域の皆様の力が支えです。障害者の活動に関心を持っていたいただき、機会がございましたら、ぜひお声がけいただきたいですね」。

障害のある人の働く笑顔で、福祉と企業、地域の心をつなぐという理念の実現に向け、オールしずおかの皆さんの活動は今日も続きます。



「いろいろな面で力になれると思いますので、ぜひご相談を」と河嶋さん(左)と鈴木さん(右)

認定NPO法人
オールしずおかベストコミュニティ
西部地区センター長 河嶋 美津夫 さん
静岡県障害者文化芸術活動支援センター みらーと
支援コーディネーター 鈴木 結子 さん

〒430-0929 浜松市中区中央1-12-1
静岡県浜松総合庁舎10階
TEL&FAX 053-458-7600

オールしずおかベストコミュニティ
のウェブサイトはこちらから

